

第23回 東北作業療法学会

学会テーマ

「今こそ、東北のちから!」

2012年9月29日土～30日日

URL. <http://totc23.umin.jp/>

山形から発信

特別企画 「東日本大震災に対する作業療法士の活動」

●シンポジウム1

-東北の各作業療法士会の取り組み-

●シンポジウム2

-病院、施設そして地域での作業療法士の取り組み-

●公開講座 福田恵美子 先生



●特別講演 平山和美 先生

第23回 東北作業療法学会

学長 鈴木由美

(公立置賜総合病院)

●演題発表 (事例発表・実践発表・研究発表など)

●機器展示・作品展示

会 場

山形国際ホテル

〒990-0039 山形県山形市香澄町3-4-5 Tel.023-633-1313 Fax.023-626-3318



主 催：一般社団法人 山形県作業療法士会
共 催：一般社団法人 青森県作業療法士会、一般社団法人 岩手県作業療法士会
一般社団法人 秋田県作業療法士会、一般社団法人 宮城県作業療法士会
一般社団法人 福島県作業療法士会

学会事務局：山形県立保健医療大学

〒990-2212 山形県山形市上柳260番地

学会E-mail. totc23-office@umin.ac.jp

実行委員長 藤井浩美 Tel・Fax. 023-686-6649

事務局長 佐藤寿晃 Tel・Fax. 023-686-6660

第23回 東北作業療法学会 「今こそ、東北のちから！」

2011年3月11日に発生しました東日本大震災において、亡くなられた方々のご冥福と被災された方々のお見舞いをこころから申し上げます。とりわけ、青森県、岩手県、宮城県、福島県におかれましては、その傷跡があまりにも深く、「復興」の厳しさは想像をはるかに超えたものがあります。そのような中、開催予定であった第22回東北作業療法学会は中止を余儀なくされました。これまで準備にあたってこられた実行委員会の皆様のお気持ちはいかばかりかとお察し申し上げます。

今回の東日本大震災は、その規模と被害の大きさ、予期しなかった原発事故から風評被害まで、直接的に私たちの生活そのものを脅かす事態となりました。この混乱の中、世界の注目を浴びたのは、被災者の方々の統制された行動であり、愚直なまことに運命と対峙し、被災者が被災者を助ける姿でした。私たちはここに、これまで意識しなかった東北人魂の真髄を見ました。私たち作業療法士もまた、復興の表舞台で華やかに支援するような専門職ではありません。復興の谷間に取り残されそうな方々に手を差し伸べ、そっとその道を示して行く地道な活動が主体です。そして、これから活動の積み重ねが、今後の日本における私たちの真価を決める重要な局面です。

第23回東北作業療法学会では、これから1年余の被災者支援の取り組みを振り返りながら、東北の“福興”に向けて何をしていくべきかを討議したいと考えております。そのため、いち早く第23回東北作業療法学会ホームページ(HP)を立ち上げました。このHPを通じて、各地の作業療法士が情報交換し、私たち作業療法士が「今こそ、東北のちから！」を内外に示せるよう力を合せましょう！

どうか、私たちの学会企画にご賛同願います。このHPのメッセージは定期的に更新する予定です。東日本大震災に対する作業療法士の具体的提案や行動の紹介、取り上げて欲しい企画や要望、今の心境や思い出など、このHPまでどんどんご投稿願います。写真や動画の掲載もOKです。

“東北はひとつ！そして、日本はひとつ！”第23回東北作業療法学会では、山形から日本の未来、作業療法の未来を考えましょう！

2011年6月17日

第23回 東北作業療法学会
学長 鈴木 由美
(公立置賜総合病院)

「リレーメッセージ」投稿原稿に必要な項目 (HPアドレス <http://totc23.umin.jp>)

今、私たち作業療法士には何ができるのでしょうか!?

今、私たち作業療法士は何をしなければならないのでしょうか!?

それぞれの立場で、それぞれの方々が考え、行動される事と思います。そこで、各地の取り組みを作業療法士で共有し合おうと考えHP上に「リレーメッセージ」のバナーを設置致しました。東日本大震災に対する作業療法士の具体的なご提案や行動紹介、今の心境や要望などご投稿をお待ちしております。

山形から世界に発信！「拡がれ、リレーメッセージの輪!!」

①所属県士会名

②協会員番号

③所属(ふりがな)

④氏名(ふりがな)

⑤タイトル

⑥本文(600~1,200字程度)

⑦写真は5点までOKです。

動画はリンク先を明記してください。

送信先E-mail. **totc23-office@umin.ac.jp**